

東播地域を拠点に活動する還暦軟式野球チーム「播磨ナインスターズ」が、秋の全国大会などに向けて練習に励んでいる。70歳以上の古希チームは昨年、県還暦軟式野球連盟の

リーグ戦西地区で優勝。今秋に予定されている全国大会の出場権を得た。メンバーらは「今年は昨年以上の成績を残したい」と意気込む。

(新田欧介)

還暦野球チーム「播磨ナインスターズ」

今秋の全国へ練習に熱

播磨ナインスターズは2001年11月に設立。神戸や姫路など県内19チーム

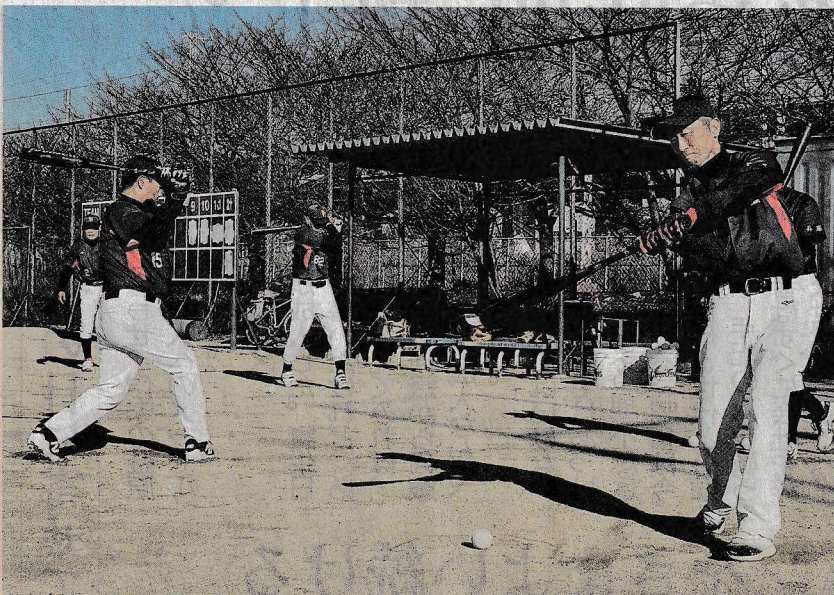
県リーグ戦での優勝経験や全国大会への出場経験がある。

習は週3回、住友金属鉱山播磨グラウンド(加古川市別府町西脇)を拠点に、合

が加盟する同連盟に加わり、年間を通じて行われるリーグ戦に出場している。古希チームと60歳以上の還

現在のメンバーは、明石や播磨町、加古川などから集まった野球好きの約45人。還暦、古希の両チーム

「プレーでのミスを許さず、向上心のあるメンバー



①素振りをする播磨ナインスターズの選手ら。いずれも加古川市別府町西脇
②播磨ナインスターズの選手ら

古希チーム、リーグVで出場権 「2回目の青春を満喫」

が多い。厳しさがあるからこそ試合で結果が出せる」と大場充明監督(79)。数年ぶりとなる全国大会出場に向け、凡ミスを減らすとともに、得点圏打率や盗塁数をアップさせるなどの対策を掲げる。

5年前、チームに加わった植田光さん(67)「明石市魚住町西岡」は「練習を初めて見学したときに、メンバーに気さくに声をかけてもらった。『今が一番若い』という思いで、あと10年は元気にボールを追いかけたい」。同チーム主将の浅野真さん(73)「加古川市野口町」は「試合の緊張感あふれる場面で、打撃や守備で貢献できたときが一番うれしい。2回目の青春をこのチームで満喫している」と語る。

近年は企業の定年延長の影響で、新入部員が以前よりも減っているという。大場監督は「厳しき半分、楽しき半分でやれるチームで、一緒に野球を頑張ろう」と新入部員を募っている。練習日は毎週月・水・金曜の午前8時半〜11時半。年会費3万円。大場監督 ☎080・5661・1946